

## きもの豆知識 浴衣の技法と文様

この季節にもっとも多くの方が着用するゆかた。今回はその技法と浴衣によく使われる柄を見てみましょう！

### 浴衣の技法

#### 注染染め

一定幅で折り重なった生地をのりで伏せ、染料を上から注いでいき、下から、コンプレッサーで染料を吸引します。何十枚一度に染めることができます。



#### 型染め

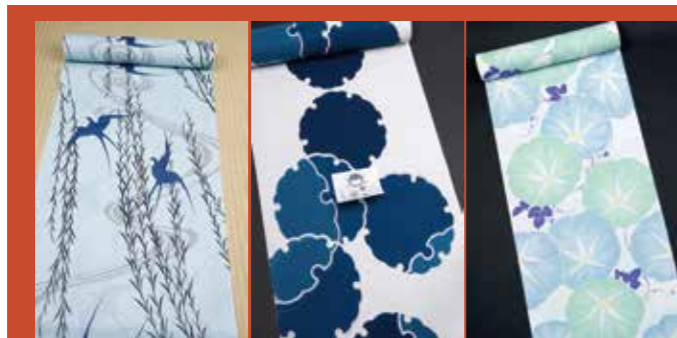
通常の着物の型染めと同じように、12mの反物の長さを型を繰り返して染めていきます。きれいに染まる反面、手間と時間がかかるため、生産量が上がりません。



### 浴衣に多い柄

柳につばめ、流水に金魚、あじさい、朝顔など夏のモチーフを柄にしたものが多い一方で、雪輪など冬のモチーフですが、涼しさを感じさせるものも浴衣などには人気の柄です。

その他：波、うちわ、蛍、撫子、とんぼ、あざみなど



## 歌舞伎のススメ ～魅力的な芝居小屋 永楽館（えいらくかん）～

先日名古屋城で公演されている平成中村座の公演を見てきました。常設の劇場とはまた違った魅力があり、昔の芝居小屋の賑わいを感じることで素晴らしい劇場でした。さて、全国には昔の情緒を残した魅力的な劇場がまだまだ存在します。その一つが兵庫県豊岡市出石町にある永楽館（えいらくかん）。なかなか遠いので訪れることもままならないですが、この地はそのむかし出石藩5万8千石の城下町で、但馬の小京都と呼ばれ重要文化財も数多く存在する歴史情緒のある町。近くには城崎温泉や豊岡カバンなどカバンの町でもあり、いろいろな魅力を持った一度は訪れてみたい町です。

その地にある永楽館は、明治34年にその地で代々染め物商営んできた小幡家11代当主次郎建てられた芝居小屋で1973年には一度閉鎖されているのですが、次第に再生の機運が高まり2006年から復元工事が行われ、2008年に完成、片岡愛之助さんによるこけらおとし公演が行われました。歌舞伎の上演されるのは今のところ、毎年11月に5日間ほどのようですが、毎年片岡愛之助さんを中心にした出演者のお練りを見ることができるのも出石永楽館歌舞伎の醍醐味といえますね。一度は訪れてみたいものです。



## かわちやの 着付教室 12回 1回1000円



かわちやの着付け教室ではそれぞれの目的やスケジュールにあわせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは  
TEL 0563-35-0039 大橋幸子まで

かわちやの  
ワンポイント着付教室  
**1,000円**  
半巾帯の結び方など  
ピンポイントでお教えます。  
(2時間)

### 竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



先月から始まったかき氷ですが、いろいろな方にご意見を頂き、今月から『欲張りセット』なるものを始めたいと思います。それは、和菓子とかき氷のセット。

かき氷プラス200円で両方食べられます。まさに甘未の二人三脚や～（たとえが下手すぎ）

### 新コーナー

### 今月のコーディネート



暑くなってきました。藍染の服は見た目にも涼やかです。ランダムに入った絞り柄がおもしろく、幅広のキュロットと合わせて涼やかに夏を楽しみましょう。

藍染Tシャツ 23,760円 藍染キュロット 12,900円

## 草木染講習会

日時 8月23日（水）  
午前の部 9:30～午後の部 13:00～  
今回は2回目です。

会費 1,000円（1回につき）+材料費

### 柿渋で和紙を染めて オリジナル和小物を作ろう！

用意するもの：厚手の手袋 エプロン

竹かご、うちわ、行灯、紙箱  
花瓶など和紙の張れるものをお持ち下さい。



家庭にある古くなったうちわや行灯などをもう一度柿渋染めの和紙をはることで甦ります。柿渋は何度も塗り重ねて自分の好みの色を出すことができます。

## イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

8月24日（木）～28日（月）

大創業祭のプレ展示いたします。  
(加賀友禅)